

# 子の健康を願う親心 ～お札まき～



「昭和 30 年代のお札まき」 写真撮影：渡辺良三



毎年7月14日に行われ、多数の屋台が出ることで知られる、戸塚町・八坂神社（別名 お天王様）の「お札まき」。女装した踊り手たちが歌いながら練り歩き、輪を作って色とりどりのお札をまいていきます。

子どもがコレラなどの疫病にかからないよう、その母親らが自らの着物を踊り手に託したことに由来するそうです。踊り手はそれを羽織って踊り、お札をつけて返したのだとか。子の健康を願う親の気持ちが込められた厄除け行事、江戸中期に伝えられたとされます。

※お札まきは、横浜市指定無形民俗文化財です。



「昭和 30 年代のお札まき」 写真撮影：金子文和